

■ レファレンスサービス

レファレンスサービスとは、利用者の調査、研究についての相談に、図書館職員が図書館資料等を利用して援助するサービスです。平成 17 年度より、Eメールレファレンスを受け付けています。また、ホームページで、武蔵野市に関するレファレンス情報提供を行っています。平成 23 年度より、全館でのカウンター受付レファレンス件数の集計を開始しました。

1. レファレンスサービス利用方法 下記の場所、方法で受け付けています。

- (1) 図書館カウンター
- (2) Eメールレファレンス（図書館ホームページ）
- (3) その他（電話・文書等）

2. レファレンスサービス利用対象

Eメールレファレンスについては、下記の場合のみが対象となります。

- ・武蔵野市に在住、在勤、在学の図書館カードをお持ちの方
- ・武蔵野市の郷土行政資料に関するご質問の方

3. レファレンスサービス利用状況

単位：件

	カウンター			Eメール レファレンス	その他 (電話・文書等)	合計
	所蔵調査 書架案内	レファレンス	調べ学習			
中央	15,591	470	27	20	3	16,111
吉祥寺	10,323	118	24	—	—	10,465
プレイス	27,249	133	107	—	—	27,489
全館	53,163	721	158	20	3	54,065

※ Eメール、その他（電話・文書等）については、中央図書館での受付質問数

※ 調べ学習は、小・中学生から寄せられた調べものについての質問

4. ホームページレファレンス情報提供

(1) 武蔵野市に関するレファレンス事例データベース

武蔵野市に関する質問（レファレンス事例）について、当市図書館所蔵資料を中心に調査したもの。平成 19 年度より公開。

(2) 武蔵野市に関する新聞記事見出しデータベース

新聞記事の中から、武蔵野市に関する記事を選択し、当館で「分類」、「主題・テーマ」を付与した索引データベース。平成 23 年 1 月より公開。

収録期間：平成 9 (1997) 年 1 月～平成 31 (2019) 年 3 月（平成 31 年 3 月現在）

今月 1 日～15 日分を翌月初旬に、16 日～末日分を翌月中旬に公開しています。

収録紙：朝日・産経・東京・毎日・読売新聞

(3) パスファインダー「おしえてむさしの！～武蔵野市についての調べ案内～」

武蔵野市についての調べ方や資料を紹介したもの。平成 25 年度より公開。

■ インターネット検索用パソコン

中央、吉祥寺図書館に1台ずつ、利用者用インターネット検索用パソコンを設置しています。新聞記事等のオンラインデータベースの利用や調査、研究に必要なWebサイトの閲覧をすることができます。また、武蔵野プレイスには、10台のパソコンを設置した「サーチバー」（利用者用インターネットパソコンコーナー）があり、オンラインデータベースの利用、Webサイトや地域映像アーカイブの閲覧をすることができます。

1. サービスの概要

(1) 利用資格

中央・吉祥寺：18歳以上の武蔵野市の図書館カードをお持ちの方

プレイス：武蔵野市の図書館カードをお持ちの方

(2) 利用時間

中央・吉祥寺：1日1回30分（次に予約がなければ30分延長可能）

プレイス：1日60分まで

(3) 利用料金

無料（データベース等のプリントアウトはモノクロ1枚10円。プレイスのみカラー1枚50円）

2. オンラインデータベース（平成31年3月現在）

* 吉祥寺図書館は改修工事により4月16日よりリニューアル開館。

データベース名称	内容	導入館
日経テレコン 21	日経各紙記事、日経速報ニュース、会社情報等	中央・吉祥寺・プレイス
閏蔵Ⅱビジュアル	明治、大正、昭和の朝日新聞紙面 1985年～当日の朝日新聞記事	中央・吉祥寺・プレイス
ヨミダス歴史館	明治、大正、昭和の読売新聞紙面 1986年～前日の読売新聞記事	中央・吉祥寺・プレイス
毎索	1987年～当日の毎日新聞記事	中央・吉祥寺・プレイス
Westlaw Japan	判例、法令データベース	中央・吉祥寺・プレイス
官報情報サービス	昭和22年5月3日から当日発行分の官報	中央・吉祥寺・プレイス
JapanKnowledge Lib	事典、辞書類を中心に40以上のコンテンツ 『日本大百科事典』、『日本国語大辞典』、『国史大辞典』、『日本歴史地名大系』等	中央・吉祥寺・プレイス
人物レファレンス事典 plus	1945年以降に国内で刊行された伝記・評伝類の書誌	中央・吉祥寺・プレイス
magazineplus	一般誌、専門誌、海外誌紙の雑誌記事	中央・吉祥寺・プレイス
Web OYA-bunko	大宅壮一文庫所蔵の雑誌記事	中央
国立国会図書館歴史的音源配信	歴史的音盤アーカイブ推進協議会（HiRAC）がデジタル化した音源	プレイス
国立国会図書館デジタル化資料送信サービス	国会図書館が所蔵する図書、雑誌、古典籍、博士論文などをデジタル化した資料の閲覧	中央・吉祥寺・プレイス
ナクソス・ミュージック・ライブラリー	利用者個人のパソコンからアクセスする音楽配信サービス	各館カウンターでID、パスワードを配布 ※
ELNET	1988年以降の新聞96紙、雑誌約150誌	中央・吉祥寺・プレイス

※ 吉祥寺、プレイスのみ館内インターネットパソコンでも利用可能

3. 武蔵野市地域映像アーカイブ（武蔵野プレイス）

昭和初期から現在までの市やNHKが所有する武蔵野市に関する資料や映像を収集、「武蔵野市地域映像アーカイブ」としてデータ化し、市民共有の文化資産として保存、公開しています。
収録データ件数：動画 196 件、静止画 256 件（平成 30 年度）

4. インターネット検索用パソコン利用状況

月	中央		吉祥寺		プレイス		全館	
	利用人数	印刷件数	利用人数	印刷件数	利用人数	印刷件数	利用人数	印刷件数
4	162	136	59	39	1,211	2,180	1,432	2,355
5	136	110	122	18	1,117	2,325	1,375	2,453
6	137	231	151	18	1,141	1,956	1,429	2,205
7	149	40	163	4	1,364	2,439	1,676	2,483
8	142	115	143	18	1,490	2,244	1,775	2,377
9	131	18	124	91	1,171	2,088	1,302	2,106
10	124	37	150	6	1,178	2,328	1,302	2,365
11	180	8	141	19	1,035	2,154	1,215	2,162
12	107	59	150	55	1,023	1,733	1,130	1,792
1	99	39	134	3	1,067	2,596	1,166	2,635
2	102	216	143	15	1,128	2,459	1,230	2,675
3	96	48	146	78	1,221	2,706	1,317	2,754
合計	1,565	1,057	1,626	364	14,146	27,208	16,349	28,362

※プレイスの印刷件数は平成 28 年度より機種変更に伴い、一般のコピー件数と合算されるようになったため、参考数として記載。平成 27 年度の総数は、7 千から 8 千件弱であった。

5. ナクソス・ミュージック・ライブラリー利用状況

月	中央	吉祥寺	プレイス		全館		備考
	発行件数	発行件数	発行件数	館内利用件数	発行件数	合計	
4	41	14	25	17	80	97	
5	26	19	21	14	66	80	
6	19	19	9	18	47	65	
7	28	15	17	22	60	82	
8	19	18	16	22	53	75	
9	15	18	17	26	50	76	
10	19	18	15	32	52	84	
11	16	16	12	7	44	51	
12	20	20	12	6	52	58	
1	23	10	14	32	47	79	
2	20	12	14	12	46	58	
3	28	12	16	20	56	76	
合計	274	191	188	228	653	881	
月平均	22.8	15.9	15.7	19.0	54.4	73.4	

■ 図書特別整理

資料の現状を把握し、適正に管理するため、また、資料を整理し、利用しやすい環境を作るために、各館で年に1回特別整理を行っています。

1. 概要

(1) 実施期間

中央図書館	① 平成30年10月9日(火)～11日(木)…臨時職員による先行実施 ② 平成30年10月12日(金)…委託による先行実施(休館日) ③ 平成30年10月15日(月)～21日(日)
吉祥寺図書館	平成30年11月12日(月)～16日(金)
武蔵野プレイス	平成30年11月5日(月)～9日(金)

(2) 業務内容

① 所蔵資料の在庫点検 (ICタグ読み取り操作蔵書点検)、不明本の確認及び統計処理

② 資料整理

開架資料の書架整理、選別(書庫入れ、除籍)

2. 実績

単位：冊・点

	種別	蔵書数 ※	不明数			計	参考 前年度の 蔵書点検 不明数
			前年度まで の不明数	今年度の蔵書点検不明数			
				点検前不明数 (前回から12 月末までの不 明分)	蔵書点検期 間に判明し た不明分		
中央	図書	643,269	517	73	62	652	—
	雑誌	36,327	218	4	6	228	—
	AV	17,403	400	15	11	426	—
	小計	696,999	1,135	92	79	1,306	91
吉祥寺	図書	94,586	282	32	8	322	—
	雑誌	3,361	136	5	1	142	—
	小計	97,947	418	37	9	464	70
プレイス	図書	179,390	529	67	59	655	—
	雑誌	10,268	135	8	17	160	—
	小計	189,658	664	75	76	815	41
合計		984,604	2,217	204	164	2,585	—

※蔵書数は、平成30年11月末現在

■ 図書館情報システムの概要

1. 導入の経過（主なもの）

年	月	内容
昭和 58 年		図書館内部でコンピュータシステム導入のための検討が始まる
昭和 59 年	10 月	武蔵野市立図書館電算機導入基本計画書作成
	12 月	電算対策委員会設置（委員 6 名、労働組合も参加）
昭和 60 年	1 月	個人情報保護審議会に入力項目についての審議を諮問
		電算機種選定委員会を設置（助役、企画部長、教育次長、電算担当副参事、図書館長、図書館管理係長で構成）
	2 月	個人情報保護審議会より入力項目について承認される
	5 月	電算機種選定委員会において機種決定される。 （NEC ACOS410 モデル 10 パッケージ L I C S 2）
	12 月	本格稼働開始（中央図書館、西部図書館）
昭和 62 年	11 月	吉祥寺図書館開館、3 館オンラインへ
平成 4 年	11 月	システムのバージョンアップを図る。（NEC ACOS 3300/55N）
		市民会館とのネットワーク開始。（武蔵野市立図書館資料の検索及び返却のみ稼働）
平成 7 年	4 月	新中央図書館開館、利用者用検索機導入
平成 9 年	9 月	電算機入替に関し、個人情報保護審議会にて承認される
平成 10 年	1 月	電算機入替。（NEC より富士通へ。富士通 GRANPOWER 7000 モデル 200、パッケージ i L i s w i n g）
平成 13 年	2 月	東京都立図書館電算新システム稼働に伴い、検索用電算機設置
	11 月	武蔵野市立図書館ホームページ開設 （ http://www.library.musashino.tokyo.jp/ 、利用案内、蔵書検索、新着図書案内機能等。www サーバ：富士通 PRIME POWER 200）
平成 17 年	5 月	システムのバージョンアップに関し、個人情報保護審議会にて承認される
	7 月	システムのバージョンアップを図る（富士通 PRIME POWER 450、パッケージ i L i s w i n g 21/UX+へ） 図書館ホームページのリニューアルをする
平成 19 年	12 月	システムのバージョンアップを図る（富士通 PRIME POWER 450、パッケージ i L i s w i n g 21/UX+ Ver 6へ）
平成 20 年	3 月	IC タグ管理及びブックディテクションシステム（BDS）稼働
平成 22 年	12 月	電算機入替（富士通より NEC へ。NEC Web 型パッケージ L i c s - W e b II） 自動貸出機、自動返却機、予約棚等 IC タグを活用するシステムを導入
平成 23 年	7 月	武蔵野プレイス開館とともに返却棚、予約棚の運用を開始
平成 28 年	1 月	電算機入替（NEC よりサン・データセンターへ。System x 3550 M4 V2、パッケージ CLIS Ver. 3.0） サーバをデータセンターに設置し、クラウド方式を採用 図書館ホームページをリニューアル
平成 30 年	4 月	吉祥寺図書館改修工事に合わせ、予約棚、自動返却機を新設。自動貸出機、館内 OPAC（検索機）を増設。

2. 個人情報保護に関する留意事項

利用者データの入力については、移行時も含めすべて自館内で行っており、利用者の検索も、パスワードを入力しないと検索できないシステムとなっています。

また、入力データについては、個人情報保護審議会に諮問し、承認を得ています。さらに、他の

コンピュータシステムとの接続を禁じるなど、プライバシー保護については、慎重を期しています。

- (1) 利用者の登録番号は、図書館で独自に設定し、住民基本台帳をもととした住民情報と接続しない。
- (2) 利用者の読書記録は持たない。(ただし、利用者自身がログイン認証後に選択・記録・照会できる「読書記録照会サービス」をホームページと館内OPAC上で行っている。)
- (3) 利用者ファイルには、図書コードのみを、図書ファイルには利用者コードのみを記録し、利用者名と書名の直接の対応を避ける。
- (4) 生年月日は、年のみ入力(月日は全員4月2日で入力)。
- (5) 利用者の登録、修正、削除等個人のデータについてはパスワード等により、作業者を特定する。

3. 図書館情報システム所蔵機器一覧 (平成31年3月現在)

単位：台

	場所	館内 OPAC	自動 貸出機	自動 返却機	ノート パソコン	デスクトップ パソコン	プリンター	インターネット パソコン
中央	4階電算室	—	—	—	1	1	1	—
	4階事務室	—	—	—	4	6	2	1
	3階	1	—	—	—	1	2	1
	2階	3	2	—	—	2	1	1
	1階メイン	6	5	2	3	3	1	—
	1階児童	2	1	—	—	1	1	—
	地下1階	—	—	—	—	3	1	—
	地下2階	—	—	—	1	—	—	—
	小計	12	8	2	9	17	9	3
吉祥寺	1階	3	3	2	—	3	1	—
	1階事務室	—	—	—	5	1	2	0
	2階児童	2	1	—	—	2	—	—
	地階	3	1	—	—	—	—	—
	小計	8	5	2	5	6	3	0
プレイス	事務室	—	—	—	7	4	1	1
	2階メイン	2	—	—	—	3	1	—
	2階児童	1	1	—	—	—	—	—
	1階	5	6	2	—	6	1	—
	地下1階	4	—	—	—	6	1	1
	地下2階	1	—	—	—	—	—	—
	小計	13	7	2	7	19	4	2
合計	33	20	6	21	42	16	5	

※ その他利用者用インターネット検索用パソコンが中央、吉祥寺に各1台、プレイスに10台あり

■ 広報

図書館のサービスや事業、取り組み等を広く市民、利用者に周知し、図書館利用を促進するため、様々な広報活動を行っています。

1. 図書館だより

図書館サービスや事業を広く周知するために年4回発行し、ホームページでも公開しています。平成30年度は、以下の4号を発行しました。

平成30年度内容

No.Ⅲ-第5号（平成30年4月29日発行）「ただいま！吉祥寺図書館です！」

No.Ⅲ-第6号（平成30年7月25日発行）「子ども図書館文芸賞 作品募集中です！」

No.Ⅲ-第7号（平成30年9月20日発行）「数字で見る武蔵野市立図書館～武蔵野市の図書館
平成29年度」

No.Ⅲ-第8号（平成31年2月25日発行）「本好き同士の熱い戦い！ビブリオバトル」

2. 利用サービスガイド

全館ガイド（利用案内）より詳細な利用サービスのガイドとして、主にOPACの利用の仕方などを中心に発行し、ホームページでも公開しています。平成30年度は、発行がありませんでした。

3. ホームページ

図書館ホームページは、利用案内、お知らせ、発行物・会議録等を公開し、蔵書検索（Web OPAC）、インターネット予約、利用状況確認、レファレンス受付等を利用することができます。

ホームページ訪問数

月	訪問数	日数	1日平均
4	446,814	30	14,893.6
5	465,827	31	15,026.7
6	442,499	30	14,750.0
7	459,535	31	14,823.7
8	468,618	31	15,116.7
9	458,971	30	15,299.0
10	458,347	31	14,785.4
11	439,998	30	14,666.6
12	453,775	31	14,637.9
1	480,694	31	15,506.3
2	442,936	28	15,819.1
3	495,171	31	15,973.3
合計	5,513,185	365	15,104.6

※トップページカウンター数による算出

■人材育成・職員研修

平成22年4月に策定された『武蔵野市図書館基本計画』では、“質の高いサービスを支える体制・整備の施策”の一つとして、人材育成が挙げられています。同計画に基づき、平成23年2月、情報化社会の進展や職員体制の多様化等の変化の中で、図書館が目指す将来像を実現し、質の高い図書館サービスを提供するために、長期的な視点に立った図書館の人材育成計画を策定しました。

1. 職員研修の実施

日常業務の知識、技術の共有化と向上を図るため、館内整理日等を利用して、館内研修を実施しています。また、東京都立図書館、多摩地域市町村立図書館長協議会等が実施する外部の研修、研究会等に職員を派遣し、情報収集や担当業務に関わる専門知識を習得するように努めています。研修の成果については、各職員が記録、評価する個人シートを作成しています。

館内研修実施実績

研修名	実施時期	対象職員	参加人数	備考
新任研修	随時	新任職員・新任嘱託職員	15	中央7、プレイス8
腰痛予防体操	4月	職員・嘱託職員	28	中央28 ※外部講師
消防訓練	4、10月	職員・嘱託職員	81	プレイス39、42
情報セキュリテイ研修	4月 5月 2月	職員・嘱託職員	92	プレイス39 中央33 吉祥寺20
I S O研修	5月	職員・嘱託職員	33	中央33
インターネットデータベース研修（新聞DB等）	5、8月 9、2月	職員・嘱託職員	66	プレイス49 中央17 ※すべて外部講師
武蔵野市の歴史を知る研修	6月 2月	職員・嘱託職員	31	中央31 ※すべて外部講師
障害を持つ方への接遇研修	7月 2月	職員・嘱託職員	41	中央31 プレイス10 ※すべて外部講師
児童担当研修	8、9、2、3月	職員・嘱託職員	11	プレイス11
レファレンスの基礎 参考資料を活用しよう	8月	新任職員・嘱託職員	16	中央16
資料修理研修	9月	嘱託職員	9	プレイス9
レファレンス研修(参考図書使用)	10月 2月 3月	職員・嘱託職員	84	中央19 プレイス44 吉祥寺21 ※すべて外部講師
接遇研修	10月 3月	職員・嘱託職員 嘱託職員	79	吉祥寺20 プレイス42 ※外部講師 中央17
救急救命講習	11月	嘱託職員	17	中央17 ※外部講師

防災訓練	12月	職員・嘱託職員	29	中央 29
レファレンス研修(インターネットDB使用)	2月	職員・嘱託職員	17	中央 17 ※すべて外部講師

※ 参加人数には研修講師を務めた者を含む

外部研修参加実績

研修名	実施機関、団体	対象職員	参加人数	備考
協力担当者会	東京都市町村図書館長協議会	担当職員	1	中央 1
図書館等職員著作権実務講習会	文化庁	担当職員	1	中央 1
図書館大会	日本図書館協会	全職員	1	中央 1
図書館総合展	図書館総合展運営委員会	全職員	19	中央 8、吉祥寺 1、プレイス 10
第 13 回視覚障害者向け総合イベント	サイトワールド実行委員会	担当職員	1	中央 1
障害者サービス研修及び障害者サービス担当者事務連絡会	東京都立図書館	担当職員	1	中央 1
図書館システム研究会	サン・データセンター	担当職員	1	中央 1
レファレンス研修(東京情報)	東京都立図書館	担当職員	1	中央 1
図書館システム研修	富士通	担当職員	3	中央 1、吉祥寺 2
障害者サービス研究会	多摩地区図書館サービス研究会	担当職員	1	中央 1
電流協セミナー「電子図書館サービスの現状と電子図書館への期待」	電子出版制作・流通協議会	担当職員	1	中央 1
レファレンス担当者会	東京都立図書館	担当職員	1	中央 1
東京都図書館研究交流会	東京都立図書館	全職員	1	中央 1
多摩地域公立図書館大会	東京都市町村立図書館長協議会	担当職員	3	中央 2、プレイス 1
国文学研究資料館との連携ですすめる地域の文化振興	国文学研究資料館	担当職員	1	中央 1
音声教材の効率的な政策方法等に関する調査研究事業「デイジー教科書事例報告会」	日本障害者リハビリテーション協会	担当職員	1	中央 1
東京都公立図書館地域資料担当者会	東京都立図書館	担当職員	2	中央 2
美術情報レファレンス研修	東京都立図書館	全職員	1	吉祥寺 1
製本研修	東京都立図書館	全職員	1	吉祥寺 1
雑誌新聞レファレンス研修	東京都立図書館	全職員	1	吉祥寺 1
New Education Expo2018	New Education Expo	全職員	1	プレイス 1

児童図書館専門研修 Ⅰ・Ⅱ	東京都立図書館	担当職員	2	プレイス2
ビジネス情報レファレンス	東京都立図書館	全職員	1	プレイス1
レファレンス研修（郷土史）	武蔵野ふるさと歴史館	全職員	41	プレイス41
レファレンス研修	多摩地区図書館サービス研究会	全職員	1	プレイス1
児童サービス研修	多摩地区図書館児童サービス研究会	全職員	1	プレイス1
児童サービス・青少年サービス合同担当者会	東京都立図書館	担当職員	2	プレイス1、吉祥寺1
図書館視察	ゆいの森あらかわ	全職員	3	プレイス3
上級救命再講習	東京消防庁	該当職員	1	吉祥寺1

※ 内容の異なる複数回の研修は延べ人数をとる

■ 図書館運営委員会

武蔵野市立図書館の運営に関して、地域から広く意見を求め、武蔵野市らしい特色ある図書館づくりを行うため、武蔵野市図書館運営委員会を設置して、①図書館サービスに関すること ②図書館主催事業に関すること ③施設、閲覧環境等に関すること ④その他図書館の充実に関すること等について協議しています。

【第8期武蔵野市図書館運営委員会】

○委員任期 平成29年10月1日より令和元年9月30日

○委員数 8名（学識経験者5名、公募市民3名）

○委員名簿 （委員長 船崎 尚 職務代理者 松山 巖）

委員名	任期	学識・公募
桂 まに子	平成29年10月1日～令和元年9月30日	京都女子大学司書課程専任講師
船崎 尚		元武蔵野大学司書課程非常勤講師 元武蔵野市立図書館長
松山 巖		玉川大学教育学部教育学科准教授
毛利 和弘 (平成30年3月29日まで)		近畿大学通信教育部非常勤講師
赤羽 幸子		武蔵野市立井之頭小学校校長
大津 幸男		公募市民委員
金子 和代		公募市民委員
北本 亜由美		公募市民委員
安形 輝	平成31年4月1日～令和元年9月30日	亜細亜大学国際関係学部教授

○ 委員会開催状況

回	開催日	主な会議の内容
第1回	平成29年11月9日	<ul style="list-style-type: none"> ・委嘱状交付 ・図書館運営委員会の運営について ・委員長、職務代理者の選出について ・図書館基本計画について ・今後の会議予定について ・報告事項
第2回	平成30年6月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・前回議事録の確認について ・図書館の運営について ①図書館事業評価（平成29年度）について ②図書館事業目標（平成30年度）について ・その他

第3回	平成30年8月2日	<ul style="list-style-type: none">・前回議事録の確認について・図書館の運営について<ul style="list-style-type: none">①図書館事業評価（平成29年度）について②図書館事業目標（平成30年度）について・その他
-----	-----------	---

■ 図書館基本計画

平成 31 年 3 月、第 2 期武蔵野市図書館基本計画を策定しました。策定にあたっては、平成 29 年度に図書館基本計画策定委員会を設置し、検討を行いました。

1. 武蔵野市図書館基本計画の概要

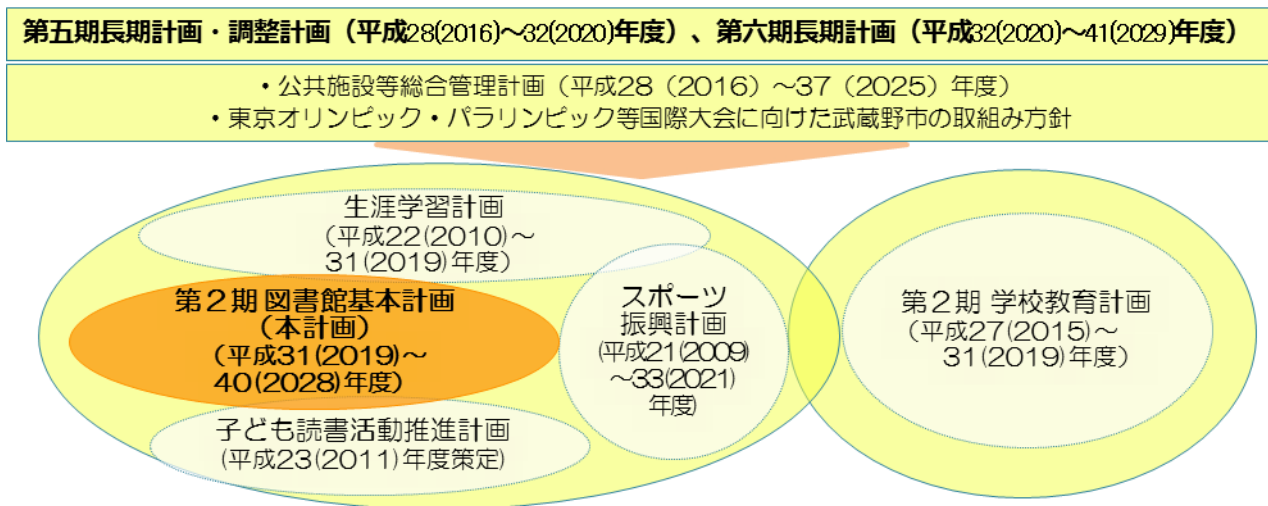
【1 計画策定の背景】

武蔵野市立図書館では 3 館構想を掲げて整備を進め、平成 7（1995）年度に中央図書館の移転、平成 23（2011）年度に武蔵野プレイスの開館、平成 30（2018）年度に吉祥寺図書館のリニューアルを行ってきました。整備が進む一方、インターネットの普及や生涯学習活動の活発化、さらには地域や住民による地域課題解決への支援の必要性の高まりなど、図書館をめぐる環境は大きく変化してきています。

上記の状況、および、平成 22（2010）年度に策定された第 1 期図書館基本計画が平成 31（2019）年度に計画期間を終了することから、武蔵野市立図書館が今後進むべき姿を描くと同時に、3 館の適切な役割分担、その実現のために必要な施策を網羅的・体系的に整理するため、第 2 期図書館基本計画を策定することとしました。

【2 計画の位置づけ・計画期間】

本計画は、長期計画（現行の第五期基本計画・調整計画の計画期間は平成 28（2016）～32（2020）年度）を踏まえ、教育・文化行政推進のための基本計画として策定されている生涯学習計画（現行計画期間は平成 22（2010）～31（2019）年度）の図書館部分について整理した個別計画として位置づけられるものです。



計画期間	平成30 (2018) 年度	平成31 (2019) 年度	平成32 (2020) 年度	平成33 (2021) 年度	平成34 (2022) 年度	平成35 (2023) 年度	平成36 (2024) 年度	平成37 (2025) 年度	平成38 (2026) 年度	平成39 (2027) 年度	平成40 (2028) 年度	平成41 (2029) 年度
長期計画	第五期長期計画・調整計画			第六期長期計画								
生涯学習計画	第1期計画		第2期生涯学習計画									
図書館基本計画	第1期計画	第2期図書館基本計画										

【3 計画の構成】

本計画では、第1章で計画の位置づけについて整理した後、第2章で武蔵野市立図書館を取り巻く現状と課題について整理し、それを受けて、第3章でこれからの10年における武蔵野市立図書館の理念・方向性とそれを実現する施策について記載しています。

第1章 計画の位置づけ	本計画策定の背景、位置づけ、期間等を記載
第2章 武蔵野市立図書館を巡る現状	全国の図書館の動向、武蔵野市の現状、市立図書館の現状から課題を抽出
第3章 基本理念と施策体系	武蔵野市立図書館が目指す理念とその実現のための施策を記載

【4 図書館基本計画の全体像】

第1期図書館基本計画の後、インターネットの普及、地域の課題解決における図書館の役割の拡大など、図書館を巡る環境は大きく変化しました。また、武蔵野市に限ってみても、全国的にみて非常に活発な図書館サービスを提供し続けている一方で、市外利用者が想定を上回り市民利用を圧迫しつつあること、資料の収蔵スペースの余剰が少なくなり、今後の資料収集への影響を考える必要が出てきていることなど、新しい課題が出てきています。

本計画では、上記を踏まえ、図書館の原点に立ち戻って「図書館の力」を一層高めていくこと、それを地域に活かしていくことで環境変化への対応をしていくことを基本の理念および方針とし、重点的な取組と、具体的な実施計画を立案しています。

ひととまちを「知」で支える

図書館の責務である「知る自由の保障」を原点におき、すべての市民にとっての知の面でのセーフティネットを目指します。

読書ならではの楽しさや喜びを提供し、武蔵野市民が知りたいこと・考えたいこと・解決したいことを「知」の側面から支えていくために、図書館の力を高め、市民と地域の生き生きとした活動に貢献していきます。

図書館の力を高める

(1) すべての人が「読む」楽しみを実感できる図書館

- ・インターネット時代にも変わらない読書の楽しみ、図書だからこそ得られる感動の体験を上げていきます。
- ・子どもや青少年、来館困難な市民や障害のある市民にも目を配り、読書への意欲に寄り添った支援をしていきます。

(2) すべての人が「知る」楽しみを実感できる図書館

- ・「知る」楽しみ、体系的に調べ考えることにより得られる「知」の価値や楽しさを、市民に上げていきます。
- ・レファレンスの高度化を実施します。

(3) 「デジタルの力」を取り入れ、活かす図書館

- ・ICT技術を活用し、デジタル時代に相応しい新サービスの導入や既存サービスの高度化を図っていきます。

図書館の力を地域に活かす

(1) 地域住民の課題解決を支援する図書館

- ・地域の課題解決に取り組んでいる行政の部署、専門機関、民間団体、市民団体、NPO団体などの協力・連携・協働を強化し、市民の課題解決を支援します。

(2) 人々の交流と文化創造を支援する図書館

- ・3館それぞれの特性を生かしながら、青少年活動や市民活動、学校教育など、各種の機能と効果的に連携して、市民交流や地域文化の創造を支援します。

↓ 基本方針実現のために、本計画期間において特に取り組む重要な項目 ↓

- ・すべての人への適切な読書環境と読書支援の実施
- ・レファレンスの強化と普及
- ・蔵書方針の見直し
(複本冊数の抑制・3館の地域特性を活かした選書)
- ・情報発信力の強化
- ・専門人材の育成・強化

- ・地域課題解決支援の強化
(他部署や他機関、学校などの教育機関、地域の団体や企業などとの連携や協働の推進)
- ・市民への適切なサービス提供
(市外登録者のサービス内容の見直し)
- ・中央図書館の役割の明確化と運営形態の検討

【5 実施計画の体系】

武蔵野市立図書館では、「基本理念」を実現するために、図書館運営に関する項目として3つの実施計画を、図書館サービスに関する項目として4つの実施計画を設定し、それぞれ様々な施策・事業を展開していきます。

それぞれの実実施計画に基づき、個別の事業に取り組むことで、「基本理念」に向けて着実に計画を実施していきます。

(図書館運営に関する項目)

(1) 図書館施設・機能の充実

- ①図書館機能の充実（配本サービス、団体貸出、公共施設での窓口開設）
- ②既存施設の整備・改修（計画修繕・改修、中央図書館リニューアル検討、館内環境整備）
- ③図書館情報システムの改良（情報発信力の向上、省力化・サービス向上）

(2) 安心して利用出来る図書館環境の構築

- ①利用者の安全性を高める設備・サービスの充実（防犯カメラ、安全維持、防火・防災）
- ②個人情報とプライバシーの保護
- ③危機管理体制の構築（マニュアルの改善・更新、危機管理研修・訓練）

(3) 質の高いサービスを支える体制整備

- ①職員の人材育成（計画・継続的な育成、視察・外部研修、政策立案・形成人材の育成）
- ②施設の管理運営形態（中央図書館の運営形態、開館日・開館時間の検討）
- ③図書館運営評価の実施（内部評価・目標設定に基づく事業執行、図書館運営委員会）
- ④開かれた図書館運営

(図書館サービスに関する項目)

(1) 地域の情報拠点としての情報蓄積

- ①一般図書（地域特性等を生かした選書、除籍基準見直し、DB強化、電子図書研究）
- ②逐次刊行物（新聞・雑誌等）
- ③視聴覚資料（CD・DVD等）
- ④児童・ヤングアダルト（青少年）資料
- ⑤郷土・行政資料（ふるさと歴史館との分担での収集、地域課題解決支援など）
- ⑥利用困難者サービス資料（録音・点訳・大活字本等）

(2) 市民や関係機関と連携したサービスの充実

- ①市民との協働
- ②他の図書館施設、行政部局との連携・協力（大学図書館・専門図書館、庁内サービス等）
- ③学校との連携・協力

(3) 図書館の活用と情報収集の支援

- ①貸出・閲覧サービス（市民への適切なサービス水準の確保）
- ②本に親しめる環境の整備（情報提供、子ども読書活動推進計画、各種読書支援活動など）

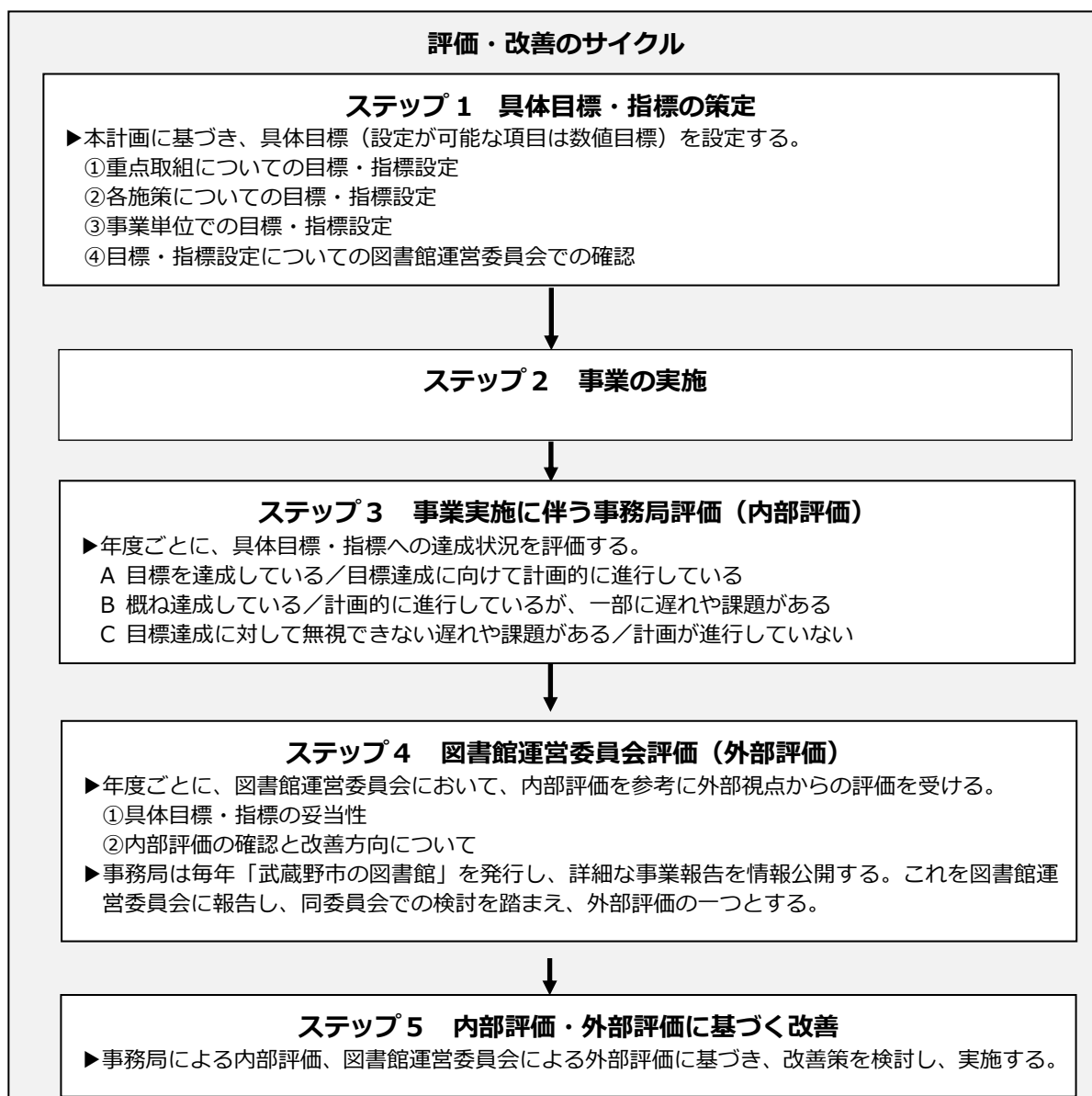
③市民の生涯学習や市民活動の支援の充実

(4) 市民の学びと課題解決の支援

- ①レファレンスサービスの強化・普及（「知る楽しみ」の普及活動など）
- ②「知る楽しみ」を拡大する情報の収集、提供、発信（インターネット利用環境の充実など）
- ③課題解決の支援（行政他部署・大学・地域団体との連携、図書館による課題発掘など）

【6 計画実現に向けて】

計画の施策・事業の進捗状況や成果を把握するために、施策・事業の内容について定期的に確認・点検を行い、必要に応じて改善をしていきます。事業を推進していくために下記のサイクルにより、進捗管理を行っていきます。



【武蔵野市図書館基本計画策定委員会】

○委員任期 平成30年3月より平成31年3月まで

○委員数 10名

○委員名簿 (委員長 船崎 尚 職務代理者 松山 巖)

氏名	所属	備考
赤羽 幸子	武蔵野市立井之頭小学校校長	第8期図書館運営委員会委員
大津 幸男	市民公募委員	第8期図書館運営委員会委員
岡本 真	アカデミック・リソース・ガイド 株式会社代表取締役	
桂 まに子	京都女子大学司書課程専任講師	第8期図書館運営委員会委員
金子 和代	市民公募委員	第8期図書館運営委員会委員
北本 亜由美	市民公募委員	第8期図書館運営委員会委員
竹内 道則 (平成30年3月31日まで)	武蔵野市教育部長	
福島 文昭 (平成30年4月1日から)	武蔵野市教育部長	
船崎 尚	元武蔵野大学司書課程非常勤講師 元武蔵野市立図書館長	第8期図書館運営委員会 委員長
松山 巖	玉川大学教育学部教育学科准教授	第8期図書館運営委員会委員 委員長職務代理
毛利 和弘 (平成30年3月29日まで)	近畿大学通信教育部非常勤講師	第8期図書館運営委員会 委員長職務代理

○ 委員会開催状況

回	開催日	主な会議の内容
第1回	平成30年3月20日	・委員委嘱、委員長選出 ・基本計画とアンケート調査結果の説明 ・今後の会議の進め方について
第2回	平成30年4月26日	・図書館の現状 ・現行計画の施策等進捗状況・評価について
第3回	平成30年5月24日	・テーマごとのワークショップ その1
第4回	平成30年6月26日	・テーマごとのワークショップ その2
第5回	平成30年8月2日	・武蔵野プレイス施設、事業の実施状況について ・基本計画の構成案、基本方針の検討 ・管理運営形態の検討
第6回	平成30年9月8日	・図書館フォーラム「みんなで考えませんか？10年後の図書館」
第7回	平成30年10月2日	・基本計画 素案の検討
第8回	平成30年11月13日	・基本計画 中間のまとめ案の検討

第9回	平成31年2月5日	・パブリックコメント対応の検討
第10回	平成31年2月26日	・基本計画案の検討